

学校2学期制の研究を開始 17年度に本格導入めざす

議員 教育改革の一環として全国的に議論されている学校2学期制の研究を十五年度から市内の小・中学校で始めるとのことだが、そのねらいとメリ

ットを聞きたい。 学校教育部長 本市の場合、多くの先例市が行っているモデル校や試行校の扱いではなく、研究を行う中でその成果を見極



15年度から2学期制を試行している港小学校

学童保育の充実へ

公的施設の活用を要望

議員 学童保育事業は法制化され、国も重点施策としているが、保護者の運営や金銭面での負担、施設や指導員の待遇など事業の拡充が一層求められている。市内のある学童保育クラブでは六〇人の児童がいるが、十六年四月中旬以降の施設の確保ができていない。本市の学童保育事業については、専用施設の建設が公的施設の開放が必要と考

えるが、市はどのような対応を考えているのか。 健康福祉部長 借家契約更新など借り換えの際には、施設借り換え時支度金として家賃三か月分を上限として支援している。地域内での民間施設の確保が困難となっている状況は認識しており、学童保育クラブと情報交換を行い、また、情報収集に努めてできる限りの協力と支援をしていきたい。

議員 問題は家賃の支援ではなく、民間から借りる場所がないということである。学校の校庭など空き地を利用して新たな施設をつくり開放してもよいのではないかと。 市民部長 施設の確保について、最近、国や県の考え方の中に民間の保育所、幼稚園などの社会資本を活用することが示されている。場所の確保や利便性等難しい部分もあるが、専用の施設も視野に入れた中で研究検討を進めていく。



地域のボランティアによる田植えの授業(みずほ小学校)

議員 十五年度は、緊急地域雇用創出特別対策事業として学習支援補助員賃金が大幅に増額されているが、内容を聞きたい。 教職員課長 児童・生徒の個々の課題に目を向け、学習面、生活面での支援をする補助員三十八人の賃金である。落ち着いて学習できる環境や授業体制づくりを目的として、市内小中学校へ派遣するものであり、小学校新一年生において、一クラス四〇人近い規模の学級を持つ学校が一〇校予想さ

して登録されているが、その活動状況について聞きたい。 学校教育部長 各学校が開かれた学校づくりを進める中で、多くの方々に学校教育ボランティアとして参加・参画していただいている。活動内容は、一三九人の図書ボランティアの方に読書活動の推進をいただいていた。ほかには家庭科におけるミシン指導や調理指導、社会科、生活科における地域探検や米作り体験の指導、総合的な学習における環境保護、国際交流等の話や実習もある。さらには、校内の花壇や農園の整備、校庭や運動場の補修、遊具づくりなどさまざまな場面で活動していただいている。

議員 ボランティアの形には、学習と一緒に加わ

めしていくものである。ねらいは児童・生徒が基礎・基本や自ら考えるなどの「確かな学力」を身につけて、各学校が創意工夫を生かした取り組みや特色を生かしてゆとりの中で「生きる力」を育む教育を展開するためとらえている。メリットとしては、授業時間の確保が行いやすく、バランスのよい行事配置ができるなど多くの点がある。

議員 デメリットについて聞きたい。 学校教育部長 他市では、保護者から学力低下への懸念等があったが、周知の徹底等を図り解決している。デメリットというより課題が生じるので、これに誠実に対応することにより成果に変えていけると考えている。

議員 新学習指導要領では「家庭や地域社会との連携および学校相互の連携や交流」の必要性が述べられている。地域と学校の連携をさらに強め、

多くの、人と接する心構えや言葉遣い、礼儀などの能力が育っていく。感謝や思いやりの気持ちも育まれ、人間関係も広がっていく。地域に知り合いが増えることで地域への愛着が深まると思われ、何よりの成果である。また、学習の成果の発表の仕方も工夫されてきており自分を表現する力も育っている。課題としては、十分時間をかけた研究ができるような、価値のある学習課題の設定、学びの見直し、計画作成、また、評価方法等今後も研究を進めていかねばならないと考えている。

る「学習参加」、プランを作成する「学習参画」、都合のよい時間に参加できる「学校ボランティア」、およびボランティアと学校の橋渡し役となる「ボランティアコーディネーター」というものがある。このコーディネーターを中心としたシステムを導入してはどうかと思うが、見解を聞きたい。

学校教育部長 現在、地域教育力ネットワーク協議会が「ボランティアコーディネーター」として仲立ちをするなどよりよい対応に向けた動きも始まっている。「ボランティアコーディネーター」は、学校にとっても地域との連携をより一層深める上で検討を要するシステムであり、各学校に働きかけるとともに研究していきたいと考えている。

地域と連携した学校づくり 教育ボランティアの活動状況聞く

議員 十五年度は、緊急地域雇用創出特別対策事業として学習支援補助員賃金が大幅に増額されているが、内容を聞きたい。 教職員課長 児童・生徒の個々の課題に目を向け、学習面、生活面での支援をする補助員三十八人の賃金である。落ち着いて学習できる環境や授業体制づくりを目的として、市内小中学校へ派遣するものであり、小学校新一年生において、一クラス四〇人近い規模の学級を持つ学校が一〇校予想さ

して登録されているが、その活動状況について聞きたい。 学校教育部長 各学校が開かれた学校づくりを進める中で、多くの方々に学校教育ボランティアとして参加・参画していただいている。活動内容は、一三九人の図書ボランティアの方に読書活動の推進をいただいていた。ほかには家庭科におけるミシン指導や調理指導、社会科、生活科における地域探検や米作り体験の指導、総合的な学習における環境保護、国際交流等の話や実習もある。さらには、校内の花壇や農園の整備、校庭や運動場の補修、遊具づくりなどさまざまな場面で活動していただいている。

議員 ボランティアの形には、学習と一緒に加わ

市議会を傍聴してみませんか



臨時会・定例会のお知らせ

次回は5月中旬に臨時会、6月上旬から定例会が開かれる予定です。

◇湘南ケーブルネットワーク(SCN)で定例会本会議の様子をテレビ放映しています。
※生中継は午前10時(予定)から2チャンネルで、録画放映は当日の午後7時(予定)から9チャンネルでご覧ください。

編集後記

十五年年度の当初予算などを審議した今回の三月定例会では、行政とともにまちづくりの役割を担う市民活動団体を支援するため、本年五月にひらつか市民活動センターを開設する条例も可決しました。多くの団体等に活用されることを期待しています。

- 編集委員 小泉由紀雄 金子修一 小泉 春雄 細野忠彰 瀬下 浩 前田 晃 議長 佐藤 宏 副議長 奥山晴治 ☆事務担当は、議会事務局議事課調査担当、電話二三一一一一(内線二三六七)です。